

僕の幼馴染。
元気で明るくて
幼馴染の見本の
ような女の子だ

男っ気がなくて
誰にでも気さくに
話しかける

ん？
何見てるの？

変な顔して
こわいんだけど

そんな性格だから
男女問わず友達が多い
きつと男子にも
人気があるんだろう…

幼馴染という
アドバンテージが
そうさせていたの
かもしれない…

そうは思いつつも
いつかは彼女が
自分のものになるんだろう
なんて甘い考えでいた

そんな幻想が
打ち碎かれると共に
僕も見ることができない姿を
知ることになるなんて…



つい昨日のことだ
同じクラスの菊地から
突然メッセージが来た

菊地はサッカー部の
キャプテンでおまけに
成績も顔もいい
僕とは正反対で
関わりのないやつだ

おい
聞こえてる？

「お前鈴寧と仲良かったよな？」

「まあ普通じゃない？ 幼馴染だから多少は」

なんだかいやな予感がしつつも
そんな情けない返事をした

「じゃあこれやるよ他の奴に見せんなよ(笑)」

そんなメッセージとともに
三枚の画像が送られてきた

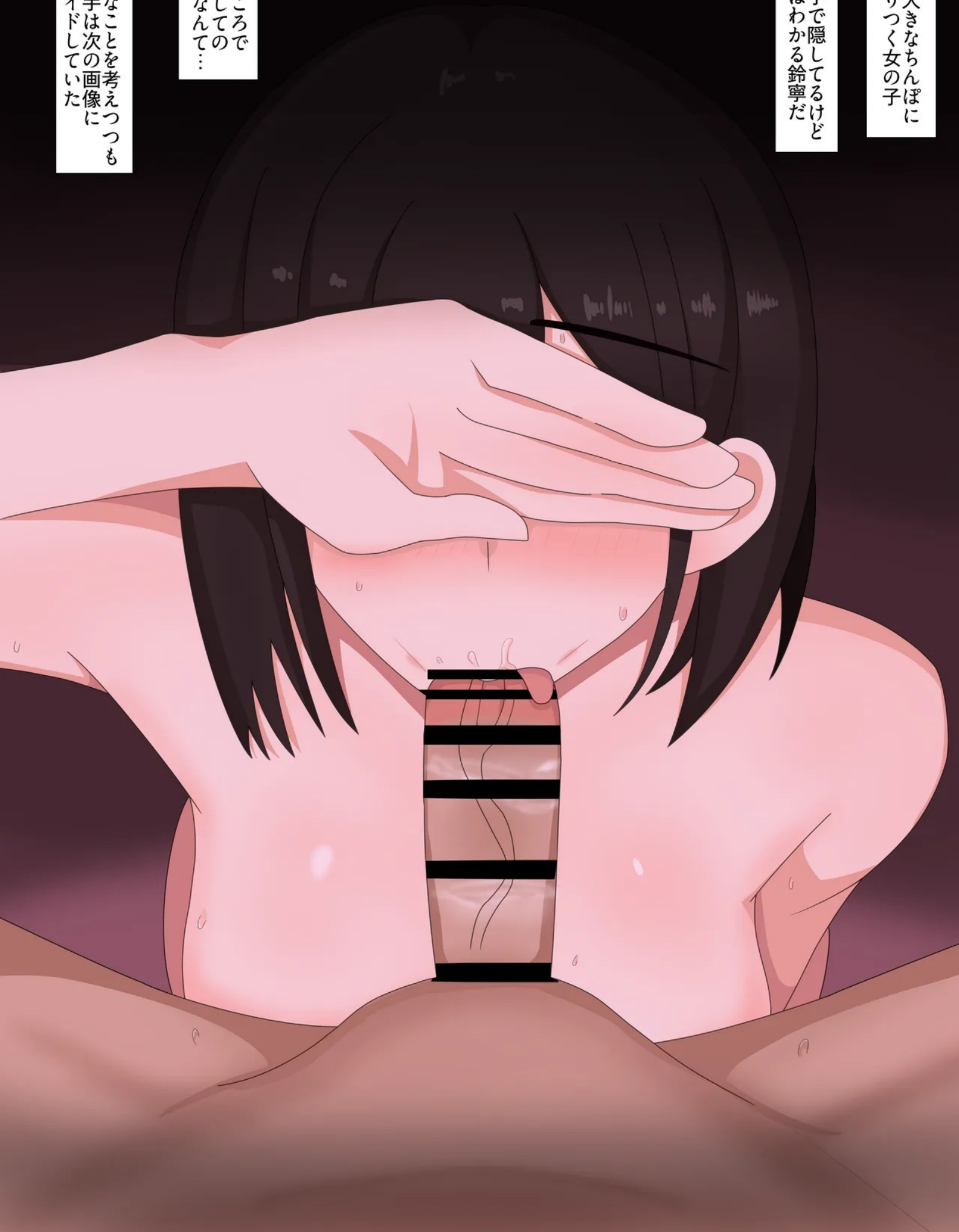


照れつつ大きなちゃんぽに
むしやぶりつく女の子

顔を手で隠してるけど
僕にはわかる鈴寧だ

こんなところで
幼馴染としての
勘が働くなんて…

そんなことを考えつつも
僕の手は次の画像に
スライドしていた



挿入前の写真
さっきのとは違って
鈴寧は足を抱えていて
顔は隠されていた

僕の見たことない
鈴寧の表情…
この後のことを
想像すると僕は…

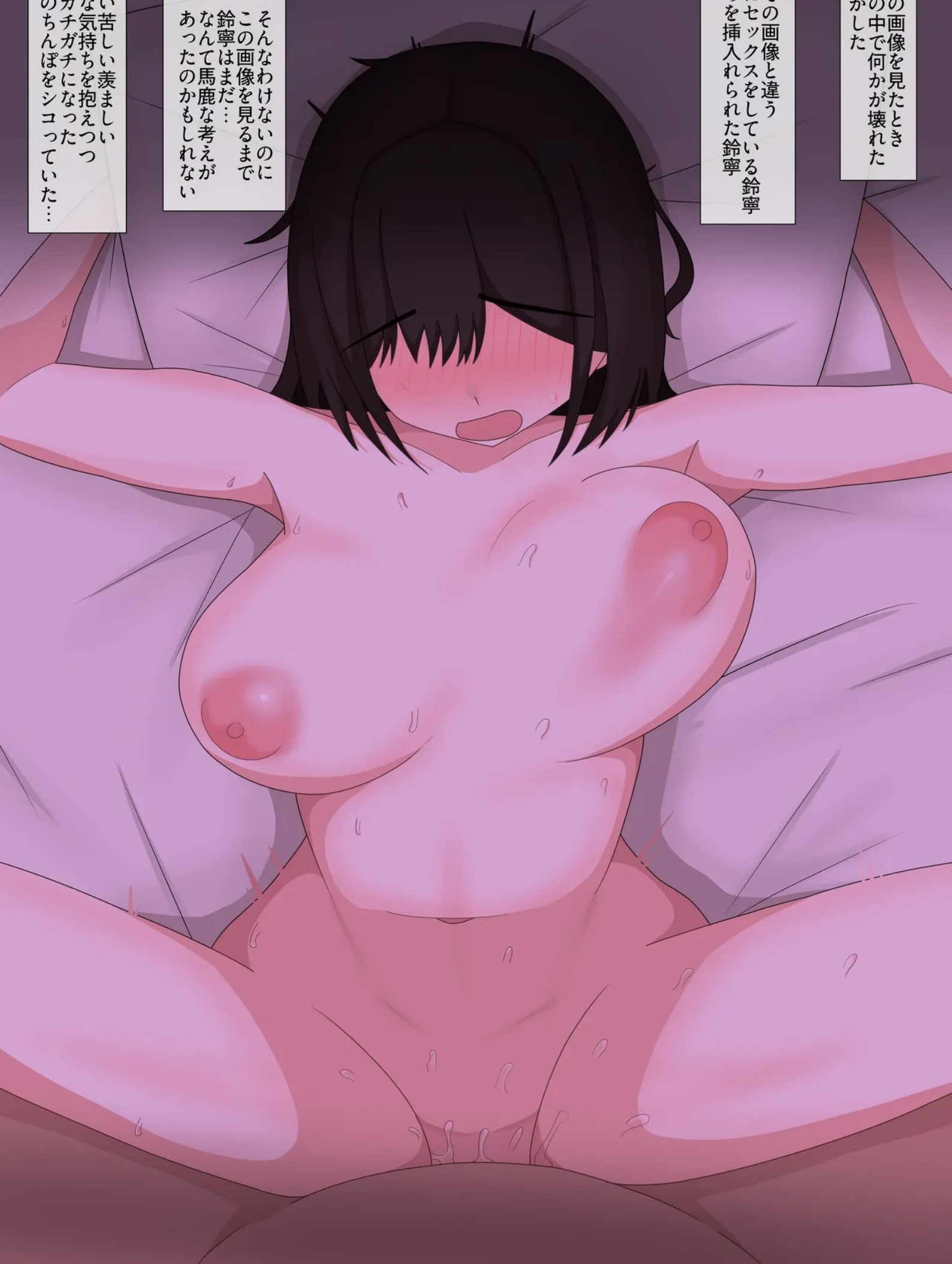


その画像を見たとき
僕の中で何かが壊れた
気がした

今までの画像と違う
本当にセックスをしている鈴寧
菊地のを挿入られた鈴寧

そんなわけがないのに
この画像を見るまで
鈴寧はまだ：
なんて馬鹿な考えが
あったのかもしれない

悔しい苦しい羨ましい
そんな気持ちを抱えつつ
僕はガチガチになった
自分のちんぽをシコっていた：



学校ではいつも通りの鈴寧
胸がざわついて話をすることも
出来なかった

学校から帰ってきて
また菊地からメッセージが来た

「動画あるんだけど買う(笑)?」

僕はそのメッセージに
嫌悪を感じつつも
二つ返事で返してしまった

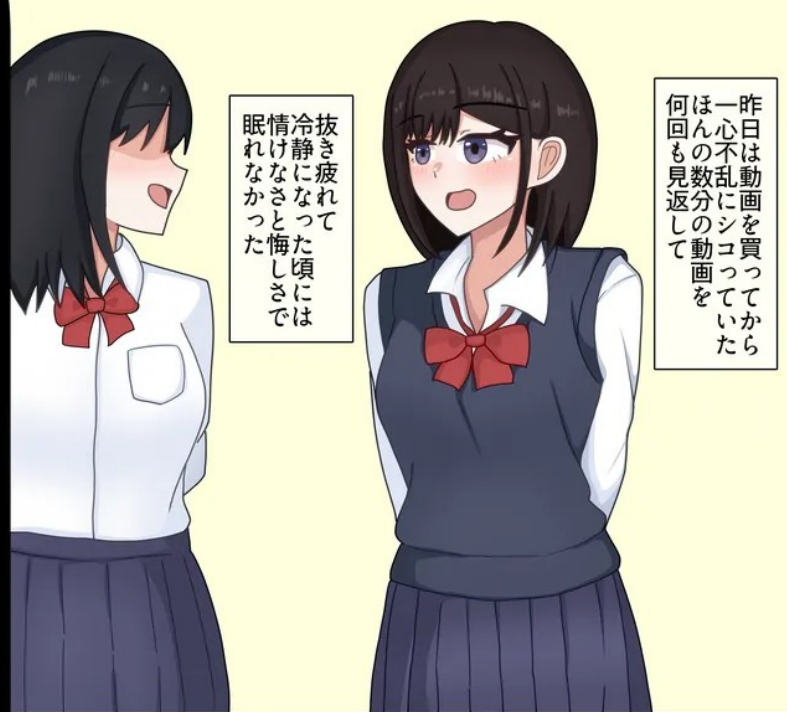
「買う」





悔しいのに
鈴寧を見るのと
昨日の動画が
フラッシュバックしてしまう

鈴寧を見るたびに
僕の知らなかった
声、顔、体



昨日は動画を買ってから
一心不乱にシコっていたら
ほんの数分の動画を
何回も見返して

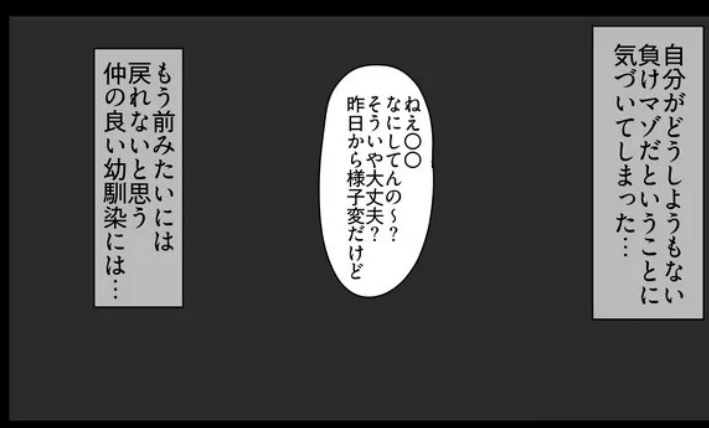
抜き疲れて
冷静になった頃には
情けなさど悔しさで
眠れなかった



聞いたよ
買ったらしいね
菊地から

私とあいつのセックス♡

は？



自分がどうしようもない
負けマゾだということに
気づいてしまった…

ねえ○○
なにしてんの？
そーいや大丈夫？
昨日から様子変だけど

もう前みたいには
戻れないと思う
仲の良い幼馴染には…



菊地もひどいよね
ほかのやつには
見せないでって言ったのに

あ…

ああ…

それ以上は…

やめてくれっ…

よりもよって
幼馴染の○○なんて♡



幼稚園から一緒なのに
そんな性癖なんだって
知らなかった

サイテーだね♡

変態♡



くそっ…
くそっ…
鈴寧…っ

鈴寧っ…!!

ちゅねねっ…♡







